

大宮通信

大宮中学校 学校だより
第91号 2025.9.22

センスをみがこう！



先週の金曜日、1年生は合唱コンクールを行いました。

本校でクラスごとに歌声を発表し合うのは久しぶりでした。夏休み前から音楽の授業や学級活動で練習を積み重ね、その成果がよく表れています。3クラスとも、力を合わせてすてきな歌声を響かせてくれました。少し気が早いですが、卒業式で皆さんのがどれほどすばらしい歌を聴かせてくれるのか、今から楽しみです。



さて、今週はいよいよ文化発表会です。展示発表も舞台発表も、一人一人の努力や工夫がたくさん見られることを期待しています。

今日の放送朝会では、「ユーモア」についてお話ししました。

先日、ユーモアコミュニケーショントレーナーをしている方の新聞記事を読みました。その方はアメリカで「ユーモアのプロ」の資格を取り、ユーモアの力を広める活動をしておられるそうです。

皆さんは、「ユーモア」って、どんなものだと思いますか？

「ユーモアのセンスがある人」って、どんな人でしょうか？

記事には、ユーモアのセンスとは「おもしろいことを言うこと」ではなく、「おもしろいことを見つけること」と書かれていました。

たしかに、無理におもしろいことを言おうとして言いすぎてしまい、雰囲気を壊してしまったり、人をいやな気持ちにさせてしまったりすることもありますよね。

何気ない日常の中に、「小さな面白さ」を見つけようとできること、日常生活を「面白がろうとする気持ち」をもつことが、ユーモアのセンスをみがいていくことだそうです。そしてこれは、だれにでもできることなのです。

また、同じものを見ていても、笑顔で見るのと、むすっとした表情で見ているのとでは、笑顔の方が、楽しく感じられるそうです。新聞記事には、「ユーモアのめがね」をかけて、心の余裕をもって物事を見てみましょう、と書かれてありました。

今週も、文化発表会で、また毎日の学校生活で、皆さんのユーモアにあふれた姿がたくさん見られることと思います。ちょっとしたおもしろさに気づければ、緊張もやわらぎ、なかまとの時間がもっと楽しいものになるはずです。